

国立循環器病研究センター 出前授業（科学技術館）

5月8日（金）大阪科学技術館の職員の方に授業をしていただきました。

今回の科学実験ショーの実施内容は「極低温のふしぎな世界」でした。

極低温の世界では、物がどのような変化をするのかについて、目の前の実験をつうじて学ぶ内容で、クイズを織り交ぜながら子どもたちが楽しめるものでした。



液体窒素に関する解説の後、液体窒素にバナナや、風船を入れる実験を見ました。

バナナが変化する様子や風船が膨らみ液体窒素から出ると元の大きさに戻る様子に

子どもたちは興味をもって見ていました。風船が膨張して、

割れないかドキドキしていた様子も見られました。



工作では、周りの教員、保護者の方と一緒にかわいい空気砲を作りました。

材料は紙コップ、風船や輪ゴムを使って夢中になって作っていました。

完成後は、「えい！」「よし！」と声を出しながら、的に向かって打っていました。



イベントの最後は、マジシャン体験です。

「硬いスプーンが曲がります、みんな見てね。」と

子どもたちは、マジシャンになっていました。

スプーンが曲がるポイントを、聞いて実際に

体験して楽しみながら何度も挑戦していました。

